

平成 28 年 度

富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

一般入試・社会人入試

富 山 大 学

〒930-8555 富山市五福 3 1 9 0

目 次

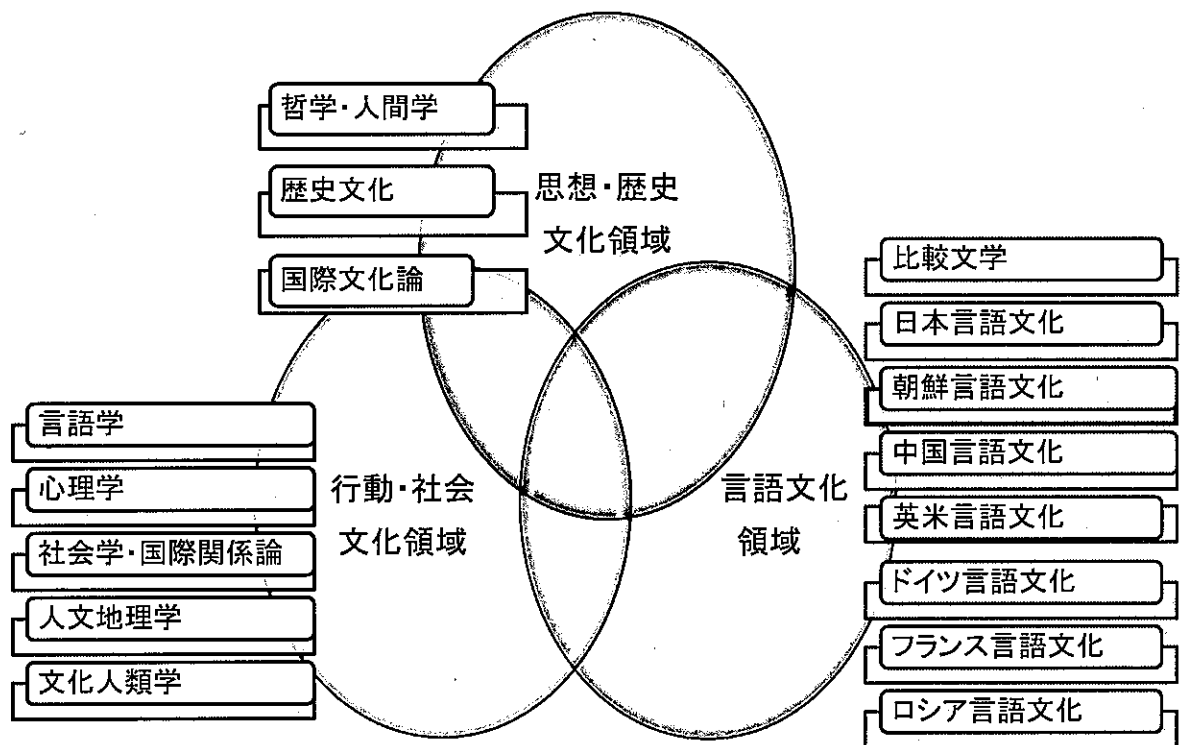
富山大学大学院人文科学研究科を志望するみなさまへ	1
富山大学大学院人文科学研究科の基本方針	2
一 般 入 試	4
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 出願資格審査	
4. 出願期間	
5. 出願手続	
6. 選抜方法	
7. 試験期日及び場所	
8. 合格者発表	
9. 入学手続	
10. 注意事項	
11. 志願者の個人情報保護について	
社 会 人 入 試	9
1. 募集人員	
2. 出願資格	
3. 出願資格審査	
4. 出願期間	
5. 出願手続	
6. 選抜方法	
7. 試験期日及び場所	
8. 合格者発表	
9. 入学手続	
10. 注意事項	
11. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	
12. 長期履修制度	
13. 志願者の個人情報保護について	
人文科学研究科の概要	13

富山大学大学院人文科学研究科を志望するみなさまへ

人文科学研究科は、多様化・複雑化した人間・文化・社会の諸相を総合的に把握し、多様な学生にきめ細かくかつ機敏に対応できる柔軟な体制を実現するために、人文科学1専攻・15教育研究分野というかたちをとっています。これにより、方法論や一般理論の深化・発展を重視する教育研究分野と、地域に密着した研究を重視する教育研究分野とが、柔軟に連携します。

さらに、分野間の連携・協力を明示するために、文献や史料を研究の素材とする思想・歴史文化領域、実験や調査を研究手法とする行動・社会文化領域、言語や広義の文学を研究対象とする言語文化領域という3領域を設定しています。

以上により、深さのみならず幅を備えた効果的な研究指導を、複数の指導教員から受けることができます。



※ 教育研究分野の詳細は、人文科学研究科の概要（13～18頁）をご覧ください。

富山大学大学院人文科学研究科の基本方針

I. 入学者受入方針

本研究科は、以下の能力や資質を持った学生を求めます。

1. 専攻する研究分野についての基礎的な研究能力を身につけている。
2. 論理的思考力と創造性を持ち、研究に対する強い意欲を備えている。
3. 深い人間理解と倫理観を備え、社会貢献に必要な豊かな人間性を有している。

II. 教育課程編成方針

本研究科は、研究科の人材育成目標達成のために、下記のようなカリキュラムを編成・実施しています。

1. 1年次には、「特論」で各専門分野の基本概念や方法論などを踏まえて深く学びながら、「特論演習」で、研究文献・史料などの高度の読解力や人間や社会を対象とする実験や調査の手法、資料の分析方法などを修得していきます。これと並行して異なる研究分野の教員の指導を受けることによって、専門性を深化させるとともに、学際性・総合性を備えた学修が可能になります。
2. 「課題研究」で自ら研究課題を設けて、自主的・自立的に研究を遂行しうる能力を養成し、2年次には、修士論文の作成を行います。他領域や他研究科の教員の指導も受けられます。
3. 所定の単位を修得し、修士論文を提出します。学位授与方針に基づいた厳正な審査を経て、学位が授与されます。

Ⅲ. 学位授与方針

本研究科が目標とする人物像は以下の通りです。

1. 人文科学諸分野に関する高度な専門的知識を有し、その知識を背景に俯瞰的に地域や時代をとらえ、地域や時代の先端的諸要請に多面的に応えうる人材。
2. 主に欧米や東アジアの、思想、歴史、文学、言語に精通し、当該地域に関する研究を発展させ、その成果を世界に展開させていける人材。
3. 自らの研究を独創的に発展させ、人間に関わる諸課題に対して創造的に対応できる人材。
4. 広く人文科学諸分野に精通し、知識基盤社会を支えることができる人材。

以上のような人材を育成するために、カリキュラムを編成・実施しています。修士課程の教育を通して、学生は以下の能力を身につけます。

1. 思想、歴史、文化、心理、社会、言語、文学に関する豊かな知見。
2. 人文科学諸分野に関する調査・発表・討論などの実践的能力。
3. 様々な先端的課題を探求し、解決する能力。
4. 日本文化はもとより欧米や東アジアなどの異文化を理解する能力。
5. コミュニケーションを通して豊かな人間関係を築きながら、多文化共生社会のなかで協調・協働して目標を実現することができる能力。

一 般 入 試

1. 募 集 人 員

研究科	専攻	募集人員
人文科学研究科	人文科学専攻	8人

※ 募集人員には、社会人特別入試の若干名を含みます。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
 - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
 - (8) 平成28年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
 - (9) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - ① 大学教育修了後、日本国内又は外国の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び平成28年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - ② 平成28年3月31日までに22歳に達する者
 - (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (注) 上記の(10)により出願しようとする者は、あらかじめ平成27年10月2日（金）までに本研究科へ照会してください。

3. 出 願 資 格 審 査

出願資格(3)・(4)・(8)又は(9)により出願しようとする者については、資格の審査を行うので、あらかじめ次の書類を提出してください。

- (1) 資格の審査に必要とする書類
 - ① 出願資格(3)・(4)又は(9)により出願しようとする者
 - ア 履歴書（所定の用紙）
 - イ 卒業（見込み）証明書
 - ウ 学業成績証明書
 - エ 住民票（現在、日本国に在住している外国人志願者。在留資格が明示されているもの。）

オ その他必要とする書類

カ 返信用封筒（長型3号封筒に宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けてください。）

② 出願資格(8)により出願しようとする者

ア 事前審査申請書（所定の用紙）

イ 学業成績証明書

ウ 推薦書（所定の用紙）

エ 出願者の所属する学科等の教育課程表

オ 在学証明書（本学学生は不要）

カ その他必要とする書類

キ 返信用封筒（長型3号封筒に宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けてください。）

(注) 各証明書は、原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。

外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

(2) 書類提出期限

平成27年10月30日（金）午後5時までとします。

持参する場合は、午前9時から午後5時まで富山大学人文学部総務課（入試担当：1階教務係）で受け付けます。（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

なお、郵送の場合も上記の日時に必着とします。期限後の提出は受理しません。

(3) 審査結果の通知

事前審査の結果は、平成27年11月13日（金）までに本人宛に通知します。

4. 出 願 期 間

平成27年12月1日（火）から同年12月7日（月）午後5時までとします。

持参する場合は、午前9時から午後5時まで受け付けます。

なお、郵送の場合も12月7日（月）午後5時までに必着とします。

5. 出 願 手 続

次の書類等を揃え、所定の期日までに下記宛に提出してください。

なお、郵送の場合、巻末に添付の所定の封筒に出願書類を入れ、書留速達郵便で送付してください。

「提出先 〒930-8555 富山市五福 3190

富山大学人文学部総務課（入試担当）」

(1) 入 学 願 書 本研究科所定の用紙

(2) 学業成績証明書 出身大学長又は学部長が作成厳封したもの

(3) 卒業(見込み) 出身大学長又は学部長が作成したもの
証 明 書

(4) 検 定 料 検定料（30,000円）を本要項に添付の振込依頼書を用い、「ゆうちょ銀行」以外
振 込 証 明 書 の銀行から振り込みの後、受領した「振込金証明書」を「検定料振込証明書」
にはって提出してください。

(5) 写 真 出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面向きのもの（縦4.5cm、横4.0cm）を、
入学志願者写真票と受験票の所定欄に各々はり付けてください。

(6) 研究主題に関 研究主題の概略と入学後の抱負」（2,000字程度の日本語）を提出してください。
する 報告書

(7) 返信用封筒 受験票の送付に使用するので、宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をは
定型(長型3号) り付けてください。

(8) そ の 他 ① 他大学大学院に在籍中の者又は官公庁、会社等に在職中の者は、所属長の受験
許可書（様式を問わない）を添付してください。

② 現在、日本国に在住している外国人志願者は、住民票（市町村長発行の在留資格が明示されているもの）を添付してください。

- ③ 出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構が作成したもの）もしくは学位授与申請証明書（出身大学長又は学校長が作成したもの）を添付してください。

(注) 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、及び学業成績証明書、研究主題に関する報告書等に基づいて行います。

(1) 筆記試験

①外国語

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、日本語から、母語以外の1か国語をあらかじめ選択してください。

ただし、教育研究分野によっては、外国語の選択を指定・制限している場合がありますので、注意してください。具体的には次のとおりです。

心理学	「英語」を選択してください。
朝鮮言語文化	「朝鮮語」を選択できます。
中国言語文化	「中国語」は選択できません。
英米言語文化	「英語」を選択できます。
ドイツ言語文化	「ドイツ語」は選択できません。
フランス言語文化	「フランス語」は選択できません。
ロシア言語文化	「ロシア語」は選択できません。

②専門科目

次の15教育研究分野のうちから、志望する分野の専門科目を受験してください。

	教育研究分野	専 門 科 目
人 文 科 学 専 攻	(思想・歴史文化領域)	
	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学の共通問題のほかに、「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」からひとつを選択。
	国際文化論	異文化理解に関する共通問題のほか、日本・中国・朝鮮・アメリカ・ロシア等の各地域の諸文化に関する選択問題。
	(行動・社会文化領域)	
	言語学	言語学の共通問題のほかに、日本語教育学等の関連分野を含めた選択問題。
	心理学	認知・実験・社会・臨床等の分野を中心に、心理学の知識を問う。
	社会学・国際関係論	「社会学」もしくは「国際関係論」のいずれかを選択。いずれも、基礎用語と研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。
(言語文化領域)		
日本言語文化	「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。	
朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。	
中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。	

人文 科 学 専 攻	英米言語文化	英語力を見る問題のほかに、「英語学」「イギリス文学」「アメリカ文学」からひとつを選択。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、「ドイツ語学・ドイツ文学」を課す。
	フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。
	ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。

(2) 口述試験

専門科目を中心として行います。

7. 試験期日及び場所

(1) 筆記試験及び口述試験

平成28年1月20日(水) 午前9時30分～午前11時30分 専門科目
午後1時 ～午後2時30分 外国語
午後3時 ～ 口述試験

(2) 試験場所 富山大学人文学部

8. 合格者発表

合格者は、平成28年1月29日(金)午後4時、人文学部に掲示するとともに、本人にも通知します。また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。電話その他による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

(1) 入学手続期間 平成28年2月中旬(予定)

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入学料 282,000円(予定額)

上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、新たな入学料が適用されます。

(注) 入学を辞退する場合は、必ず書面(任意様式)で手続をしてください。

イ その他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(注1) 授業料の納付について

入学後に納付することとなります。納付金額・納付方法については、入学手続時に案内します。

〈参考〉平成27年度授業料 年額 535,800円

(注2) (i) 入学料・授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。①経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者 ②学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者

(ii) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

10. 注意事項

(1) 受験票は、本人宛に郵送します。受験の際は、必ず受験票を携帯してください。

(2) 受験日には、午前9時までに富山大学人文学部(入試担当:1階教務係)に集合してください。

(3) 出願手続後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

(4) 一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、返還しません。

- ① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- ② 検定料を二重に払い込んだ場合
- ③ 検定料を多く払い込んだ場合

※ 返還請求の方法

別紙「検定料返還請求書」により、①及び②の場合は必ず「振込金証明書（検定料）」をはり付けて下記まで郵送してください。③の場合は、別途富山大学財務部経理課までご連絡願います。

〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学財務部経理課

電話 (076) 445-6053

(5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(6) 出願書類を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角型 2号24cm×33.2cm）に郵便切手250円をはり付け、送付先・郵便番号を明記のうえ、下記まで送付してください。

〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学人文学部総務課（入試担当）

電話 (076) 445-6138

11. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 合格者についての氏名、住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、人文学部総務課（入試担当）にその旨を申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

社会人入試

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
人文科学研究科	人文科学専攻	若干名

2. 出願資格

平成28年4月1日現在において、原則として大学卒業後3年以上の社会人の経験を有し、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
 - (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに25歳に達する者
- (注) 上記の(6)により出願しようとする者は、あらかじめ平成27年10月2日（金）までに本研究科へ照会してください。

3. 出願資格審査

出願資格(3)又は(4)により出願しようとする者については、資格の審査を行うので、あらかじめ次の書類を提出してください。

- (1) 資格の審査に必要とする書類
 - ① 履歴書（所定の用紙）
 - ② 卒業証明書
 - ③ 学業成績証明書
 - ④ 住民票（現在、日本国に在住している外国人志願者。在留資格が明示されているもの。）
 - ⑤ その他必要とする書類
 - ⑥ 返信用封筒（長型3号封筒に宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けてください。）
- (注) 各証明書は、原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。
- 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。
- (2) 書類提出期限
平成27年10月30日（金）午後5時までとします。
持参する場合は、午前9時から午後5時までに富山大学人文学部総務課（入試担当：1階教務係）で受付けます。（土曜日、日曜日及び祝日は受付けません。）
なお、郵送の場合も上記の日時に必着とします。期限後の提出は受理しません。
 - (3) 審査結果の通知
事前審査の結果は、平成27年11月13日（金）までに本人宛に通知します。

4. 出 願 期 間

平成27年12月1日（火）から同年12月7日（月）午後5時までとします。

持参する場合は、午前9時から午後5時まで受け付けます。

なお、郵送の場合も12月7日（月）午後5時までに必着とします。

5. 出 願 手 続

次の書類等を揃え、所定の期日までに下記宛に提出してください。

なお、郵送の場合、巻末に添付の所定の封筒に出願書類を入れ、書留速達郵便で送付してください。

「提出先 〒930-8555 富山市五福 3190

富山大学人文学部総務課（入試担当）」

- (1) 入 学 願 書 本研究科所定の用紙
- (2) 学業成績証明書 出身大学長又は学部長が作成・封筒したもの。
- (3) 卒業証明書 最終学歴を証明するもの。
- (4) 検 定 料 検定料（30,000円）を本要項に添付の振込依頼書を用い、「ゆうちょ銀行」以外の銀行から振り込みの後、受領した「振込金証明書」を「検定料振込証明書」にはって提出してください。
- (5) 写 真 出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面向きのもの（縦4.5cm、横4.0cm）を、入学志願者写真票と受験票の所定欄に各々はり付けてください。
- (6) 研究志望書 「入学後の研究の抱負」（2,000字程度の日本語）を提出してください。
- (7) 返信用封筒 受験票の送付に使用するので、宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けてください。
- (8) そ の 他 ① 現在、日本国に在住している外国人志願者は、住民票（在留資格が明示されているもの）を添付してください。
② 出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書（大学評価・学位授与機構が作成したもの）を添付してください。

(注) 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、及び学業成績証明書、研究志望書等に基づいて行います。

(1) 筆記試験

専門科目

次の15教育研究分野のうちから、志望する分野の専門科目を受験してください。

	教育研究分野	専 門 科 目
人 文 科 学 専 攻	(思想・歴史文化領域)	
	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学の共通問題のほかに、「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」からひとつを選択。
	国際文化論	異文化理解に関する共通問題のほか、日本・中国・朝鮮・アメリカ・ロシア等の各地域の諸文化に関する選択問題。
	(行動・社会文化領域)	
	言語学	言語学の共通問題のほかに、日本語教育学等の関連分野を含めた選択問題。
	心理学	認知・実験・社会・臨床等の分野を中心に、心理学の知識を問う。

人 文 科 学 専 攻	社会学・国際関係論	「社会学」もしくは「国際関係論」のいずれかを選択。いずれも、基礎用語と研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。
	(言語文化領域)	
	日本語文化	「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。
	朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
	中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
	英米言語文化	英語力を見る問題のほかに、「英語学」「イギリス文学」「アメリカ文学」からひとつを選択。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、「ドイツ語学・ドイツ文学」を課す。
	フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。
ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。	

- (2) 口述試験
専門科目を中心として行います。

7. 試験期日及び場所

- (1) 筆記試験及び口述試験
平成28年1月20日(水) 午前9時30分～午前11時30分 専門科目
午後1時 ～ 口述試験
- (2) 試験場所 富山大学人文学部

8. 合格者発表

合格者は、平成28年1月29日(金)午後4時に人文学部に掲示するとともに、本人にも通知します。
また、合格者の受験番号を本学 Web サイトに掲載します。
電話その他による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

- (1) 入学手続期間 平成28年2月中旬(予定)
- (2) 入学手続時に要する経費
ア 入学料 282,000円(予定額)
上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、新たな入学料が適用されます。
(注) 入学を辞退する場合は、必ず書面(任意様式)で手続をしてください。
イ その他
学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。
- (3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。
(注1) 授業料の納付について
入学後に納付することとなります。納付金額・納付方法については、入学手続時に案内します。
〈参考〉平成27年度授業料 年額 535,800円
- (注2) (i) 入学料・授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。①経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者 ②学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者
(ii) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

10. 注 意 事 項

- (1) 受験票は、本人宛に郵送します。受験の際は、必ず受験票を携帯してください。
 - (2) 受験日には、午前9時までに富山大学人文学部（入試担当：1階教務係）に集合してください。
 - (3) 出願手続後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類はいかなる理由があっても返還しません。
 - (4) 一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を二重に払い込んだ場合
 - ③ 検定料を多く払い込んだ場合
- ※ 返還請求の方法
別紙「検定料返還請求書」により、①及び②の場合は必ず「振込金証明書（検定料）」をはり付けて下記まで郵送してください。③の場合は、別途富山大学財務部経理課までご連絡願います。
〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学財務部経理課
電話 (076) 445-6053
- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
 - (6) 出願書類を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角型2号24cm×33.2cm）に郵便切手250円をはり付け、送付先・郵便番号を明記のうえ、下記まで送付してください。
〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学人文学部総務課（入試担当）
電話 (076) 445-6138

11. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨規定されています。

これを踏まえ、人文科学研究科においては、社会人（有職者）の合格者に対して、所属先の勤務条件等を考慮し時間割については、昼夜開講やその他の時間帯・時期等可能な範囲で相談に応じます。

12. 長期履修制度

長期履修制度とは、常勤の職業等を有するなどのさまざまな理由により、2年間の標準修業年限では修了が困難な方が2年を超える一定の期間内に教育課程を計画的に履修するというものです。本研究科の修士課程では最長4年までの在学期間を認めていますので、これが許可された場合には、標準修業年限（2年）の授業料の総額を、所定の履修期間を通じて学期ごとに均分して支払っていただくことになります。

※申請方法等は、入学手続き書類郵送時にお知らせします。

また、申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

13. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 合格者についての氏名、住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、人文学部総務課（入試担当）にその旨を申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

人文科学研究科の概要

思想・歴史文化領域

【哲学・人間学】

哲学は、存在・認識・世界観などの諸問題を、主に西洋哲学の方法論にもとづいて歴史的文脈を踏まえながら、深く掘り下げて研究します。人間学の研究領域には西洋思想だけでなく日本・東洋思想も含まれ、過去から現在に至る倫理思想、宗教思想、社会思想に、さらに生命倫理やジェンダーなどの現代的課題にも取り組みます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 永井 龍男	哲学	アリストテレスを中心とした古代ギリシア哲学
准教授 池田 真治	哲学	ライプニッツを中心とした近現代西洋哲学
教授 松崎 一平	中世哲学史	古代末期・中世の西欧キリスト教思想
准教授 田畑 真美	倫理思想史	日本倫理思想史 近代以前の儒教・神道・仏教思想
准教授 澤田 哲生	現代哲学	メルロ・ポンティを中心とした現象学的人間学

【歴史文化】

日本をはじめ世界における歴史事象の様相を究明し、現代に要請される歴史認識を確立するため、4つの専門に分かれて実証的な研究を進めます。古文書など史料の解読に重点をおく日本史、東アジアを中心に中央・西アジアも対象に含める東洋史、欧米文化の及んだ地域を広い視野で探求する西洋史、遺跡や遺物を手がかりに過去の文化と社会背景を探る考古学において専門研究の深化と体系化をめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 鈴木 景二	日本史	古代社会文化史、立山信仰と北陸地域の歴史
准教授 熊谷 隆之	日本史	日本中世史、鎌倉時代の支配体制、古代・中世の荘園
教授 澤田 稔	東洋史	イスラーム時代の中央アジア・西アジア史
教授 徳永 洋介	東洋史	宋元時代の政治と法制
教授 澁谷 由里	東洋史	中国近現代史、張作霖時代の東北地方
准教授 入江 幸二	西洋史	西洋近世史、スウェーデン史
教授 次山 淳	考古学	日本考古学、古墳出現期の社会史、土器様式史
准教授 高橋 浩二	考古学	日本考古学（弥生時代から古墳時代）

【国際文化論】

主として「環日本海」諸地域（日本・中国・朝鮮・ロシア）の文化とアメリカ文化の諸相、およびこれらの諸文化間の交流と受容について、異文化理解の視点から研究します。具体的には、思想、歴史、文学、カルチュラル・スタディーズなどの多様な手法を用いますが、これまでの文化潮流のなかで主流とは見なされてこなかったマイノリティーの文化やサブカルチャーも研究対象としています。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 吉田 俊則	ロシア文化論	17・18世紀ロシアにおける異文化受容
教授 鈴木 信昭	朝鮮文化論	朝鮮における西洋文化の受容
教授 末岡 宏	中国文化論	近代中国思想史、近代東アジアの伝統思想
教授 齊藤 大紀	中国文化論	1920・30年代を中心とした中国現代文学
准教授 青木 恭子	ロシア文化論	ロシア帝国の拡大と国内移住
准教授 小野 直子	アメリカ文化論	アメリカ医学史
准教授 福家 崇洋	日本文化論	日本近代社会思想史・運動史

行動・社会文化領域

【言語学】

人間言語の諸相に関する多様な関心にこたえるべく、多岐にわたる方法論が用意されています。個別言語の記述的ならびに歴史的研究から、言語間の比較対照をおこなう対照言語学・言語類型論、言語と社会の関係を究明する社会言語学、日本語学習者の言語習得を促進するものは何かを探る日本語教育学まで、さまざまな角度から言語に対する科学的かつ体系的な理解力を養います。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 呉人 恵	記述言語学	コリヤーク語の記述研究とその類型論的位置づけ
教授 樋野 幸男	日本語史	中世日本語の歴史および日本語の書記について
教授 山崎けい子	日本語教育学	学習環境のデザイン、日本語学習者の会話の分析
准教授 安藤 智子	音韻論	ロシア語および日本語の音韻的特徴

【心理学】

心のはたらきと行動の一般法則について、科学的・実証的方法を用いた研究を行うとともに、心理臨床の問題にも取り組み、心的活動のメカニズムを一般性と個別性の両面から解明することをめざします。多様な研究技法を用いて、認知心理・社会心理・臨床心理など心理学主要領域の知識を総合することで、社会の様々な分野において生じる種々の心理学的課題の解決に貢献する、高度な心理学的洞察力と実践力を育成します。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 喜田 裕子	臨床心理学	心理臨床論
准教授 黒川 光流	社会心理学	集団過程、対人コミュニケーション
准教授 坪見 博之	認知心理学	意識、注意、ワーキングメモリ

【社会学・国際関係論】

日本および国際社会における現代的な社会事象の様相を究明し、現代に要請される社会認識を確立するため、実証的な研究を進めます。差別論や自己論をはじめとする社会学理論、あるいは歴史分析や国際文化交流研究をはじめとする国際関係理論について、その最新の動向を学びながら、社会調査（フィールドワーク、インタビュー、質問紙調査、等々）に関する高度に専門的な理解を実践的に習得します。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 佐藤 裕	社会学	差別論、社会調査法（質問紙調査および統計解析）
准教授 伊藤 智樹	社会学	社会学的自己論、社会調査法（フィールドワーク等）
教授 竹村 卓	国際関係論	「人間の安全保障」論、現代国際関係史
准教授 林 夏生	国際関係論	国際文化交流論、現代日韓関係論

【人文地理学】

現代社会を空間的な視点から分析するために、理論研究・実証研究双方から様々な地理的事象を取り上げて研究を進めます。実証研究では、フィールドワークを中心とした、インテンシブな調査を行うとともに、得られたデータの分析には地理情報システムを活用するなど、新しい手法も取り入れます。それと同時に、欧米の最新の研究動向、隣接諸科学の技法、思考法をどん欲に取り入れ、地域のあり方を考えていきます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 大西 宏治	人文地理学	子どもの生活空間研究、まちづくり、防災教育
准教授 鈴木晃志郎	人文地理学	行動地理学、観光地理学

【文化人類学】

フィールドワークを通じた経験的調査に拠って、人間の織りなす様々な社会文化的営為の多面的で重層的な現実の理解を試みます。人々の行動を精細に捉える観察力と人々の語りを適切に考察に内化していくスキルをもとにして、現代世界のさまざまな事象にアプローチしています。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 藤本 武	文化人類学	少数民族、環境利用、協力、農民、社会変化
准教授 野澤 豊一	文化人類学	音楽、芸能、身体、コミュニケーション

言語文化領域

【日本語文化】

日本語学と日本文学について、それぞれ伝統的な学問研究の方法を重視するとともに、現代的な視点からの解明もめざします。日本語学では、日本語の歴史およびフィールドワークに基づく方言や現代日本語の構造を明らかにします。日本文学では、各時代の作家や作品に即して、形成発展や受容の問題などを取り上げ、日本文学の特徴を明らかにします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 小助川貞次	日本語学	日本語史、東アジア漢字文化圏の研究
教授 中井 精一	日本語学	現代日本語研究、社会言語学
教授 田村 俊介	日本文学	擬古物語・御伽草子などの中世文学及び『伊勢物語』
教授 呉羽 長	日本文学	『源氏物語』を中心とした平安時代の物語文学
准教授 小谷 瑛輔	日本文学	日本近現代文学

【朝鮮言語文化】

朝鮮言語文化では、朝鮮語学・朝鮮文学の既存の研究成果や方法論を十分に踏まえた上で、新しい研究動向にも留意しつつ、研究を行います。また、研究の礎となる種々の資料の精読、分析を特に重要視し、その能力の向上を図っていきます。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 上保 敏	朝鮮語学	朝鮮語の形態論・統語論、およびその歴史の変遷
准教授 和田とも美	朝鮮文学	19世紀末から20世紀初頭の朝鮮文学

【中国言語文化】

中国言語文化では、東アジア漢字文化圏の中心をなす中国の言語文化について、伝統的な漢文の枠にとどまらず、古典文学（文言文学および白話文学）・現代文学・文字学・音韻学などの領域から、その性格の解明をめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 森賀 一恵	中国語学	古代中国語を対象とした文献学
教授 磯部 祐子	中国文学	中国笑話の江戸文学への影響、中国説唱文芸
教授 大野 圭介	中国文学	先秦兩漢時代を中心とした古典文学
准教授 梁 有紀	中国文学	上海の女性作家張愛玲を中心とした現代文学

【英米言語文化】

イギリス言語文化とアメリカ言語文化では、英米の市民文化・大衆文化の伝統や批評理論などをふまえて、文学作品を中心としたさまざまなテキストの精緻な読解・分析を主な研究活動としており、英語学では、英語という言語の構造や歴史的変遷などを研究します。これらを通して、多様な文化事象や言語の特質を分析・解釈・記述する能力を高めることをめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 奥村 譲	英語学	中世英語方言と写本の派生関係
准教授 藤川 勝也	英語学	意味論、語用論
教授 恒川 正巳	イギリス文学	E. M.フォースターと20世紀初頭のイギリス小説
准教授 結城 史郎	イギリス文学	ジェイムズ・ジョイスとイギリス文学
教授 藤田 秀樹	アメリカ文学	アメリカ映画、20世紀アメリカ小説・演劇
教授 大工原ちなみ	アメリカ文学	20世紀アメリカ文学、ユダヤ系作家研究
教授 赤尾 千波	アメリカ文学	アメリカ黒人女性作家、映画における人種イメージ

【ドイツ言語文化】

学部で培ったドイツ語の高度な運用能力をもとに、ドイツ語に関わるさまざまな文化現象について、言語学あるいは文学研究の立場からアプローチし、その根源的な解明をめざします。ドイツ言語文化に特化して理解・研究を深めるだけでなく、本人の関心・意欲に応じて他分野の文学や語学関連の授業をあわせて受講し、対象を広げて研究を進めることも可能です。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
准教授 黒田 廉	ドイツ語学	現代ドイツ語学、複合動詞の意味・統語
准教授 阿部 美規	ドイツ語学	ドイツ語史、ドイツ語統語論の通時的研究
教授 宮内 伸子	ドイツ文学	ドイツ近代文学、翻訳を通じた日独語対照研究

【フランス言語文化】

フランスおよびフランス語圏を対象とし、基本的な知識の習得、高度なフランス語運用能力、テキストの深く厳密な理解を基礎に、言語・文学・文化史の研究を行います。研究指導にあたっては、テキストそのものの徹底した理解と、テキストを成立させている基層の的確な把握を図り、主として近世以降の文化と文学に関わる近年のフランスにおける研究動向とその成果を取り入れています。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 村井 文夫	フランス文学	18世紀フランスの文学と文化
教授 中島 淑恵	フランス文学	19・20世紀のフランス文学

【ロシア言語文化】

ロシアさらにはスラブ世界を対象として、そこにおける諸言語の本格的な修得をめざすとともに、言語を基層とした文化、すなわち文学・言語・民俗・文化史等の分野での研究を行います。研究指導にあたっては、みずからの研究テーマを開拓する発想力をもち、その学術的意義を十分に理解し、確かな方法論によって専門的研究を行うことのできる人材の養成をめざします。

担当教員

氏名	専門分野	研究内容
教授 中澤 敦夫	ロシア文学	ロシア中世文学・文化史
准教授 武田 昭文	ロシア文学	19・20世紀のロシア文学